

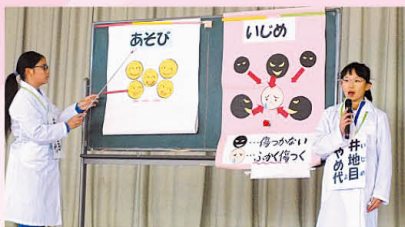
ネットいじめを防止しよう

— オール群馬「いじめ防止」の取り組み —



学校では子どもたちが自主的ないじめ防止活動をしています

群馬県ではすべての小・中・高校、特別支援学校等で、1年を通じて児童生徒の自主的ないじめ防止活動を行っています。子どもたちが自分たちの力でいじめをなくす活動をすることで、いじめを許さない意識と態度を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。



児童会主催の「いじめ博士」の講義



あいさつ運動の様子

【年間の学校の取り組み】

- 4月 各学校でいじめ防止活動計画を作成
- 5月 春のいじめ防止強化月間
- 6月 いじめ防止フォーラム
- 11月 冬のいじめ防止強化月間
- 12月 市町村別いじめ防止子ども会議
- 1月 いじめ対策の振り返り
- 2月

地域でネットいじめを話し合った「いじめ防止フォーラム」

毎年、県内12地区で開催されている「いじめ防止フォーラム」では、小学生、中学生、高校生の代表がグループに分かれて意見交換を行い、発表をしています。

今年8月に開催された高崎地区では、「ここを伝えるつてむずかしい～SNSトラブルに巻き込まれないために～」をテーマに、各学校の事前アンケートの結果や、LINE（ライン）の文字だけのやりとりで誤解が生じたトラブルとなる事例

を使って、話し合いを行いました。

また、保護者もグループになって、子どもたちをネットいじめから守るためにはどうしたらいいのか、親として何ができるのかなどについて、真剣に意見交換をしました。

各グループからは、文字だけのやりとりの難しさや、家庭でのルールづくりの重要性などの意見発表がありました。



意見発表の様子

子どもたちの意見



- ◎あいまいな言い方や短くて簡単な言葉だと誤解が生まれてしまうので、文章は具体的に書かないといけません。
- ◎文字だけだと相手に自分の気持ちがうまく伝わらないので、送る前によく確認して、スタンプや絵文字なども使うと良いことがわかりました。

保護者の意見



- ◎子どもは親を見ているので、親が子どもの前で悪口を言ってはいけません。
- ◎親子の会話が少なかったり、親が人の悪口を言うのを聞いたりして、子どもたちは寂しい思いをする。それがストレスとなって、いじめにつながっていくこともある。
- ◎スマホやネットの使用方法について、子どもは自分でコントロールするのが難しいので、家庭でルールをつくっています。

キーワード ◎ネットいじめ

スマホ（スマートフォン）やゲーム機などのインターネットに接続できる機器を使って、インターネット上の掲示板などへ悪口や嫌がらせを書き込んだり、個人情報や本人が嫌がる画像を載せるなどの方法による「いじめ」。

LINEなど特定のグループ内でやりとりするものは、悪口や無視、仲間外れが閉ざされた環境の中で行われるため、発見が難しくなり、よりいじめが深刻化しやすいです。



コラム

セーフネット標語「おぜのかみさま」

群馬県では、ネットを安全・安心に使うための標語「おぜのかみさま」を定め、啓発活動を行っています。



お	写真を おくらない	ぜ	ぜったい あわない	の	個人情報を のせない
か	悪口等を かきこまない	み	有害サイトを みない	さ	出会いを さがさない
				ま	家庭での ルールをまもる